

熊本県立劇場 指定管理者 令和3年度（2021年度） 管理運営評価票

所管部局：企画振興部地域・文化振興局文化企画・世界遺産推進課

I 施設の管理概要

指定管理者名	公益財団法人熊本県立劇場
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
施設概要	1 目的: 県民の文化の振興 2 施設概要 ・コンサートホール 収容定員 1,810 人 ・演劇ホール 収容定員 1,172 人 ・大会議室 収容人員 162 人（机・椅子使用時）、380 人（椅子のみ使用時） ・その他 和室、リハーサル室、第1～3練習室 駐車場(普通車490台、バス5台)、駐輪場(約150台)
指定管理料	414,891,000円（令和3年度分）

II 管理運営の評価

1 管理運営業務の水準

管理業務の水準の指標	目標値	実績値	差	備考
県劇入場者数	540,000 人	213,721 人	△326,279 人	対前年度 +142,957 人
文化事業入場者・参加者数	23,650 人	19,878 人	△3,772 人	対前年度 +12,937 人
コンサートホール利用率	73%	46.1 %	△26.9 ポイント	対前年度 +17.8 ポイント
演劇ホール利用率	81%	60.8 %	△20.2 ポイント	対前年度 +27.2 ポイント

【点検・調査結果及び評価】

令和3年度は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、多くの催事が中止・延期を余儀なくされたこと、県のリスクレベル引き上げや国の「まん延防止等重点措置」適用により、施設の開館時間の制限（5/16～6/13、8/8～9/30）や新規予約の停止（4/24～6/27、7/28～9/30）を行ったことの影響により、入場者数や施設利用率は目標を下回った。

令和2年度との比較では、保全計画に基づく改修工事による休館がなかったことや、感染対策を徹底したうえで、可能な限り催事が実施できるよう施設閉館を行わなかった結果、利用率は上昇し、入場者数は約3倍に増加した。

2 管理運営業務実施状況

(1) 施設維持管理業務実績

作業項目		実施頻度	備考	
業務名	業務内容			
清掃業務	日常清掃	事務室等 6 項目	使用のつど ～ 1 回 / 1 ～ 2 日	仕様書に沿って適正に実施 工事期間等は除く。以下同じ
	定期清掃	事務室等 4 項目	2 回 / 月 ～ 4 回 / 年	仕様書に沿って適正に実施
高所清掃業務	ガラス清掃	—	4 回 / 年	仕様書に沿って適正に実施
水質管理	水質検査 (市水)	残留塩素測定等 3 項目	1 回 / 週～年	検査結果問題なし
	受水槽等清掃		1 回 / 年	仕様書に沿って適正に実施
環境測定	空気環境測定	40カ所	6 回 / 年	測定結果問題なし
衛生管理	特定建築物維持管理実績報告		1 回 / 月	仕様書に沿って適正に実施
	害虫駆除		2 回 / 年	仕様書に沿って適正に実施
	汚水ピット清掃		2 回 / 年	仕様書に沿って適正に実施
警備業務	常駐警備業務		全日	仕様書に沿って適正に実施
	駐車場整理用務		必要時	仕様書に沿って適正に実施
設備維持管理	総括管理、運転監視、日常巡視点検	設備 40 項目	1 回 / 週～ 8 回 / 年	点検結果問題なし
	高圧受電設備保安点検		1 回 / 年	点検結果問題なし
	非常用発電機	法定点検等 2 項目	1～2 回 / 年	点検結果問題なし
	電気設備点検	法定点検等 4 項目	1～2 回 / 年	点検結果問題なし
	空調設備保守点検	ヒートポンプチラー等 16 項目	1 回 / 月～ 4 回 / 年	点検結果問題なし
	中央監視装置・自動制御機器保守点検		中央監視装置総合 1 回 / 年 空調機器 1 回 / 年 他	点検結果問題なし
	昇降設備保守	エレベーター 4 基	4 回 / 年	点検結果問題なし
	消防用設備保守点検		総合点検 1 回 / 年 外観点検 2 回 / 年 他	点検結果問題なし
	特定防火対象物報告		1 回 / 年	仕様書に沿って適正に実施
	自動ドア保守点検		4 回 / 年	点検結果問題なし
	煤煙測定業務		2 回 / 年	仕様書に沿って適正に実施
	給湯ボイラー保守点検		1 回 / 年	点検結果問題なし
	緊急ガス遮断装置保守点検		2～3 回 / 年	点検結果問題なし
	その他の設備維持管理	有料駐車機保守点検		4 回 / 年
施設予約管理システムソフト保守			問題発生時	仕様書に沿って適正に実施
舞台吊物保守点検			3 回 / 年	点検結果問題なし
舞台迫り保守点検			3 回 / 年	点検結果問題なし
舞台照明システム保守点検			2 回 / 年 + 問題発生時	点検結果問題なし
舞台音響システム保守点検			2 回 / 年 + 問題発生時	点検結果問題なし
楽器類保守点検	ピアノ	4 種類	1 回 / 年 + (調律 3 回 / 年)	仕様書に沿って適正に実施
	チェンバロ		1 回 / 年	点検結果問題なし
一般廃棄物	廃棄物処理業務		日曜、祝祭日を除く毎日	仕様書に沿って適正に実施
植栽等管理	樹木管理業務	駐在作業等 9 項目	随時～ 3 回 / 年	仕様書に沿って適正に実施
その他	トイレ洗浄器		1 回 / 2 ヶ月	仕様書に沿って適正に実施
	玄関マット等交換		1 回 / 2 週	仕様書に沿って適正に実施
	貸植木メンテナンス		1 回 / 月	仕様書に沿って適正に実施
【点検・調査結果及び評価】				
・維持管理業務は適正に実施されており、安全・清潔・快適な劇場の施設・設備の提供が行われた。				

(2) 文化事業の実績

I 創造拠点事業

1) 実演芸術に係る人材の育成や確保を行う事業

期日 会場	事業名	概要	入場料 参加費(円)	入場者 参加者(人)
劇場人育成プログラム				
6/22 (火) 県庁大会議室	講演「新型コロナに向き合う文化政策の提言」	同志社大学経済学部の太下義之教授を招き、講演「新型コロナに向き合う文化政策の提言」を実施した。 感染症対策として、県のシステムを用いたオンラインでも開催し、多くの市町村担当者が参加した。	無料	68
9/28 (火) 県立劇場 音楽リハーサル室	アウトリーチを知る アウトリーチを考える	地域創造の児玉真氏を講師として招き、ホール職員や市町村担当者を対象に、アウトリーチ研修を行った。 模擬アウトリーチを実際に体験してもらい、アウトリーチの意義や効果についてパネルディスカッションを行った。 全国的なコロナ対策等の話もあり、参加者の満足度も高かった。	無料	18
10/6 (水) 県立劇場 中会議室	広報	いわき芸術文化交流館アリオス支配人・副館長の長野隆人氏を招き、公共ホールの広報について講座を行った。 午前中は事業広報及び施設広報についての座学を行い、午後は各ホールからの質疑に対応した。	無料	24
10/20 (水) 県立劇場 大会議室	接遇	日本舞台芸術振興会から渡部久美氏を講師として招き、接遇や対応に関する講座を行った。 午前中は姿勢や基本的マナー、電話応対などを、午後はプライオリティゲスト対応として、車椅子利用者への対応を、体験を交えながら学んだ。 新型コロナの影響で2回の延期を経ての実施。	無料	29
12/1 (水) 県立劇場 演劇ホール	ホール入門	ステージ・ラボの潮田憲正氏を講師に迎え、劇場職員向けのホール入門講座を行った。 ギターとピアノによる公演の舞台仕込みから本番までを、解説を聴きながら見学した。 想定される利用者からの質問についても丁寧に解説し、ホールの知っておくべき事柄について理解を深めた。	無料	19
1/13 (木) 市民会館シアーズホーム夢ホール	舞台音響 研修	押谷征仁氏（びわ湖ホール舞台技術部部長代理、(一財)日本音響家協会西日本支部運営委員)を迎え、舞台音響のデジタル化の現状と将来の展望についての研修を実施。 舞台音響の現場で、即実践に活かせるような音響理論と考え方、音場作りの方法、ピアノソロコンサートでのマイクを使った増音を生音と聞き間違えう程に調整する整音方法などを学んだ。	無料	31

期日 会場	事業名	概要	入場料 参加費(円)	入場者 参加者(人)
2/12(土) 県立劇場 中会議室	著作権講座	骨董通り法律事務所(東京都)から昨年度に引き続き岡本健太郎弁護士を招き、広報・動画配信のための著作権講座を実施。 著作権の概要から広報、動画配信の際の留意点、権利処理の流れなどを説明いただいた。 質問の時間を十分に設けたため、参加者から具体的な事例についての質問もあり、アンケートの満足度も高いものだった。	無料	26
3/1(火) 県立劇場 演劇ホール	映像機器 講座	久留米シティプラザの岩本道夫氏を講師に招き、映像に関する講座を実施。 プロジェクターの管理や東映方法と併せて、西日本シネ用品の映像担当者による機種やレンズによる画質の差などを、実際に2台のプロジェクターで投影しながら解説。 使用用途に合わせた使い分けなど、受講生からの質問も多く、充実した講座となった。	無料	21
バックステージツアー事業				
4/24(土) 県立劇場 コンサート ホール	CH編「中川ハカセのピアノ&ホール解体新書」	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、前日23日に中止が決定した。公演は中止となったものの、出演者がホール入りしていたことから、急遽レクチャー動画を撮影した。 動画は県立劇場のピアノ(パーゼンドルファー社製)とチェンバロを解説する内容で、現在劇場HPやYouTubeチャンネルで公開中。	[自由] 500	—
10/11(月) 県立劇場 演劇ホール	熊本市教育相談室「フレンドリー」所外体験活動	キャリア教育の一環として、舞台スタッフの仕事を知ることが目的としたバックステージツアー。 舞台・音響・照明それぞれの専門スタッフが、舞台機構を動かしたり、機材を触らせたりして説明を行った。	無料	15
12/7(火) 県立劇場 コンサート ホール	託麻原小学校バックステージツアー	託麻原小学校2年生が公共施設を利用する際のマナーやルールを学ぶ生活科の授業で来館。 鑑賞時のマナーを学んだほか、コンサートホールの響きの豊かさなどを体感した。 劇場や文化芸術への関心を喚起するバックステージツアー事業として、施設サービスグループによるオリジナルプログラムで実施した。	無料	113
8/19(木)→ 1/22(土) 県立劇場 演劇ホール	行くぜ! 劇場探検隊 2021 (全2回)	劇場や舞台芸術に興味をもってもらおう企画として、8月19日から延期して開催。 子どもたちは、劇団きららの団員が扮する探検隊チームの一員として舞台裏を探検し、音響体験・照明体験・迫に乗る体験などを楽しんだ。 感染症対策として体験の際はビニール手袋を着用し、併せて手指消毒等を徹底した。	[参加費] 大人1,000 子ども500	18

期日 会場	事業名	概要	入場料 参加費(円)	入場者 参加者(人)
舞台技術の基礎講座				
7/17(土)、 18(日) 県立劇場 演劇ホール	舞台技術の 基礎講座	県立劇場の舞台スタッフが講師となり、演劇部や軽音楽部などの生徒・学生を対象に照明・音響・舞台を学ぶ講座を実施した。 体験活動を増やし、自由に質問ができる雰囲気であったため、受講者は意欲的に取り組み、アンケートでも満足度の高さがうかがえた。 取材：熊日	[参加費] 1,000	75
第63回熊本県芸術文化祭オープニングステージ「バレエ」				
4～8月 県立劇場 演劇リハー サル室ほか	芸文祭オー プニングス テージ 「バレエ」 リハーサル	芸文祭オープニングステージ本番に向け、総合演出を務める島崎徹氏やアシスタントによるリハーサル。 新型コロナウイルスの影響で中止したコマもあったが、全35回を実施した。	—	487
10/2(土) 県立劇場 大会議室	芸文祭オー プニングス テージ 「バレエ」 解散式	本番を実施することが叶わなかったものの、総合演出を務めた島崎徹氏が来熊し、解散式を行った。 島崎氏は自身の経験をふまえ、「夢について」「学びについて」などいくつかのテーマをもとに講演を行った。	—	56
8/30(日)→ 10/24(日) 県立劇場 演劇ホール	芸文祭オー プニングス テージ 「バレエ」 本番	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、本番を8月から10月に延期することで調整していたものの、再検討の結果9月末に中止を決定した。	[指定] S4,000 A3,000	—
東京藝術大学音楽学部「早期教育プロジェクト」				
9/11(土) 県立劇場 音楽リハー サル室	ヴァイオリ ン部門	東京藝術大学の教授らによるレッスンを、地方で受けることができる事業。 受講生6名は同大の澤和樹学長からそれぞれ40分のレッスンを受け、最後に演奏を披露した。 県外からの来熊についてはPCR検査を依頼し、消毒作業等感染防止に努めた。	無料	15
10/3(日) 県立劇場 音楽リハー サル室	ピアノ部門	東京藝術大学の教授らによるレッスンを、地方で受けることができる事業。 受講生5名は同大の江口玲教授からそれぞれ40分のレッスンを受け、最後に演奏を披露した。 鍵盤の消毒作業等感染防止に努めて実施した。	無料	20

期日 会場	事業名	概要	入場料 参加費(円)	入場者 参加者(人)
熊本地震復興5年事業				
9/19(日) オンライン	バックダンサー・パフォーマーオーディション	災害からの復興をテーマとしたパフォーマンス作品に参加するバックダンサー・パフォーマーのオーディション。 まん延防止等重点措置期間中のため、動画審査とオンライン面接で選考した。参加は九州内のダンサーら16人。振付の矢内原三邦氏とプロデューサーの吉澤貴洋氏が審査し、5人の合格者と2人の補欠合格者を選出した。	—	16
9月～3月 県立劇場 演劇リハール室 演劇ホール	リハール	振付を担当する矢内原美邦氏を迎え、3月の本番に向けたダンス練習を全20回実施した。 本番当日に出演するバックダンサーや中江岩戸神楽保存会のメンバーのほか、熊本在住の演劇人が代役俳優として参加した。 取材：NHK、TKU、熊日	—	247
11/14(日) 人吉市駅構内	トークセッション 「流域から流域へ—人吉・球磨地方の風土を考える」	令和2年7月豪雨からの復旧・復興を目指す人吉市でトークセッションを開催。 登壇者は蒲島郁夫県知事、建築家の隈研吾氏、映画監督の行定勲氏で、姜尚中館長がモデレーターを務めた。 感染症対策として無観客で収録、TKUで特別番組として放映されたほか、公式YouTubeチャンネルで配信している。 取材：RKK、TKU、読売新聞	無料	—
3/12(土) 県立劇場 演劇ホール	水と火と木、そして再生の物語 トークセッション (各2回)	映画監督の行定勲氏が総合演出する、熊本地震の復興を祈念する舞台公演。 矢内原美邦氏の振付・演出により、俳優の橋本愛氏と高良健吾氏の二人芝居と映像、コンテンポラリーダンスで再生へ向かう熊本を描いた。 九州在住のダンサー6名、中江岩戸神楽保存会が踊りと神楽で熊本の水・火・木を表現。 舞台終了後に行ったトークセッションでは、行定監督と姜館長が本公演への想いを語った。 取材：NHK、TKU、KKT、熊日、西日本	無料	1,550
全国共同制作オペラ「夕鶴」				
8/1(日)～ 5(木) 県立劇場 音楽リハール室	ワークショップ	令和4年2月のオペラ本番に向け、演出家の岡田利規氏と、ソリストを迎えてのワークショップ。 原作戯曲と楽譜を読み込み、時に動きを加えながら、お互いの「夕鶴」観を深めた。 取材：熊日	—	6
9/14(火)、 15(水) 県立劇場 音楽リハール室	ワークショップ	「夕鶴」に出演する児童コーラスを対象としたワークショップ。 本オペラを演出する劇作家の岡田利規氏と、ダンサー・振付の岡本優氏、工藤響子氏が来熊し、児童コーラスで出演するNHK熊本児童合唱団のメンバー14名を対象に劇中での動きについて指導を行った。	—	36

期日 会場	事業名	概要	入場料 参加費(円)	入場者 参加者(人)
1/8(土)、9(日)、15(土) 県立劇場 演劇リハーサル室 音楽リハーサル室	リハーサル	「夕鶴」に出演するNHK熊本児童合唱団14名を対象としたダンスおよび音楽稽古。 1/8、9は出演・振付の岡本優氏と工藤響子氏、演出助手の生田みゆき氏らが本番の動きを子どもたちに指導した。1/15は指揮の鈴木優人氏が来熊し合唱の指導を行った。 途中、演出の岡田利規氏もリモートで参加し、動きに合わせて歌う場面もあり、本番に向けて充実した稽古内容となった。 取材：熊日	—	38
2/1(火)～3(木) 県立劇場 演劇ホール	リハーサル ゲネプロ	「夕鶴」に出演するNHK熊本児童合唱団によるリハーサル及びゲネプロ。全出演者が集まり、本公演に向けての最終確認を行った。 子ども達は衣裳を着用し、メイクも施し、本番さながらの格好でリハーサルに臨んだ。	—	51
2/5(土) 県立劇場 演劇ホール	本番	東京芸術劇場と刈谷市総合文化センター(愛知)と3社共同で新演出オペラを制作・上演する事業。 熊本でのワークショップや音楽稽古を経て、10月30日の東京公演、1月30日の刈谷公演と続き、熊本公演で千秋楽を迎えた。 コロナ渦で稽古にも制限がかかる中での制作であったが、結果一人の感染者も出さず完走することができた。 舞台の高い芸術性と出演者の圧巻の熱演に対し、観客からは大きな拍手が贈られた。 取材：熊日	[指定] S8,000 A6,000	502
創造拠点事業 1) 計				3,481

2) 地域の公立文化ホールや文化団体を支援する事業

期日 会場	事業名	概要	入場料 参加費(円)	入場者 参加者(人)
アートキャラバンくまもと				
通年 県立劇場 各所	ぴっころシート事業	舞台芸術に触れる機会の少ない児童養護施設の子どもたちなどを劇場主催/共催公演に招待する事業。 今年度は2公演に81人を招待した。 ※参加者数は各公演の欄に計上	—	—
市町村ホールネットワーク事業				
5/23(日) 菊池市文化 会館	林家たい平 独演会	林家たい平氏による独演会を開催。会場では、検温、手指消毒、氏名等の記入が混乱なく行えるよう、来場者の動線を工夫するなどの感染症対策を行った。 公演では林家たい平氏が「禁酒番屋」「不動坊」を披露。 一番弟子の林家あずみ氏は三味線漫談の中で熊本にちなみ「おてもやん」を唄い、観客は手拍子で応えた。	[指定] 2,000	360

期 日 会 場	事業名	概 要	入場料 参加費(円)	入場者 参加者(人)
7/4 (日) 益城町文化 会館	小曾根真リ サイタル	ジャズピアニストの小曾根真氏によるコンサート。 熊本地震災害復旧工事後のリニューアルオープンを記念し、益城町文化会館との共催で開催した。 プログラムはクラシック音楽とジャズを融合した曲目で構成。 コンサートでは熊本地震の被災者に向け、自身の想いを込めた演奏を披露した。	[指定] 4,000	467
9/19 (日) 美里町文化 交流センター 一ひびき	三遊亭好楽 落語会	新型コロナウイルス感染症の影響で中止。	—	—
10/31 (日) 八代市鏡文 化センター	林家たい平 独演会	林家たい平氏による独演会を開催。新型コロナウイルス感染症対策要員として、表周りの人員を増やして実施し、スムーズな誘導を行うことができた。 公演は、「PCR 検査」や「笑点」の話題など、身近で興味のあるワードを交えながら、軽快な話口調で観客の心を掴んだ。 終演後、観客からは「久しぶりにこんなに腹を抱えて笑った」など、喜びの声が多数寄せられた。	[指定] 2,000	255
11/20 (土) 天草市民セ ンター	んまつーポ ス ワークショ ップ	コンテンポラリーダンスカンパニーのんまつーポスを迎え、「アリとキリギリス」の寓話を題材としたダンス公演を開催した。 公演前日に小学1～4年生を対象としたワークショップを実施。ワークショップの参加者は翌日の公演に出演した。	無料	9
11/21 (日) 天草市民セ ンター	んまつーポ ス 公演	鑑賞者から「ダンサーの迫力を間近で感じる事ができた」「貴重な体験だった」といった感想が寄せられた。	[指定] 2,000	106
11/28 (日) 三遊亭好楽 落語会 つなぎ文化 センター	三遊亭好楽 落語会	人気テレビ番組「笑点」でおなじみの三遊亭好楽氏による落語会。 今回のネタは好吉氏が「味噌豆」と「ねずみ」、好好氏が「大安売り」を、好楽氏は「めぐすり」を披露。 新型コロナウイルス感染症対策として、今回は町内在住の方に限定してチケットを販売し実施した。	[指定] 1,000	159
1/15 (土) 水俣市文化 会館	藤原道山 &SINSKE コンサート	尺八演奏家の藤原道山氏とマリimba奏者のSINSKE氏によるコンサートを水俣市で開催した。 クラシック、ジャズ、オリジナル曲など多彩なプログラムを演奏。 子どもからお年寄りまで幅広い年代が来場し、演奏後は大きな拍手が送られた。	[指定] 一般 2,000 高校生以下 1,000	181
1/30 (日) ながす未来 館	んまつーポ ス ワークショ ップ	新型コロナウイルス感染症の影響で中止。	—	—
3/6 (日) 牛深総合セ ンター	野村万禄 公演	新型コロナウイルス感染症の影響で中止。	—	—

期 日 会 場	事業名	概 要	入場料 参加費(円)	入場者 参加者(人)
共催事業				
6/24 (木) 県立劇場 コンサート ホール	平成音楽大学 ブラスオー ケストラ	新型コロナウイルス感染症の影響で中止。	—	—
8/15(日) 県立劇場 コンサート ホール	熊本ユース シンフォニ ーオーケス トラ 第 52 回定 期演奏会	小学生から 20 歳代の青少年で構成するオーケストラの定期演奏会。 プログラムのメインは、ベルリオーズの幻想交響曲。通例ではチューブラーベルで代用する鐘の音を 5 台のピアノで表す等、さまざまな工夫を凝らした演奏で大曲を聴かせた。	[指定] 1,500	629
11/6 (土) 県立劇場 コンサート ホール	第 59 回熊 本県新人演 奏会	8 月のオーディションで合格した 14 名（ピアノ 5 名、声楽 3 名、管弦打楽器 6 名）が、それぞれ演奏を披露した。 出演者は日頃の研鑽の成果を披露し、観客は音楽を楽しんでいた。	[自由] 1,000	535
11/7 (日) 県立劇場 コンサート ホール	吹奏楽連盟 周年事業	熊本県吹奏楽連盟の創立 65 周年を記念して、式典と演奏会が行われた。 式典では、九州大会で連続金賞を受賞した団体と協賛団体がそれぞれ表彰を受けた。 その後玉名女子高等学校吹奏楽部による記念演奏では、聴きなじみのある曲を多く披露し、観客を沸かせた。	[自由] 1,000	600
12/9 (木) 県立劇場 コンサート ホール	平成音楽大学 華麗なる音 楽の祭典	新型コロナウイルス感染症の影響で中止。	—	—
12/26 (日) 県立劇場 コンサート ホール	県民第九の 会 演奏会	新型コロナウイルス感染症の影響で中止。	—	—
文化活動支援事業				
通年 県立劇場 コンサート ホール 演劇ホール	文化活動支 援事業	県内で活動する文化団体に、県立劇場での会場費相当を上限に助成する事業。 令和 3 年度は 9 団体採択していたが、コロナ禍のため 3 公演が中止、1 公演は申請団体都合で取り下げとなった。	主催者により異なる	3,261
文化施設等連携事業				
9/12 (日) つなぎ美術 館	つなぎ美術 館開館 20 周年企画展 関連プログ ラム 姜尚中×柳 幸典	つなぎ美術館 20 周年を記念した特別展の関連企画として、県立劇場姜尚中館長と現代美術作家柳幸典氏による対談を実施した。 感染症対策として無観客で行われ、動画配信中。	—	8

期日 会場	事業名	概要	入場料 参加費(円)	入場者 参加者(人)
11/14(日) つなぎ美術館	中川賢一× つなぎ美術館	つなぎ美術館 20 周年を記念し、ピアニストの中川賢一氏によるピアノコンサートを開催。 ドビュッシーやサティの小品を中心としたプログラムで観客を楽しませた。	無料	63
創造拠点事業 2) 計				6,633

3) 伝統芸能の継承と発展を支援する事業

期日 会場	事業名	概要	入場料 参加費(円)	入場者 参加者(人)
能でよむ一漱石と八雲一				
11/6(土) 県立劇場 演劇ホール	能でよむ 一漱石と八雲一	夏目漱石と小泉八雲の文学作品を能仕立てで楽しむリーディング公演。 能楽師と浪曲師の力強い歌声と三味線と琵琶の深い響きで、集まった観客を楽しませた。 身体に障がいのある方も一緒に楽しめるよう、音声ガイド、字幕タブレット、手話通訳、手話付き上演などの鑑賞サポートも取り入れた。 取材：熊日	[自由] 2,500	223
清和文楽新作プロデュース事業				
通年 各地	清和文楽新 作プロデュ ース事業	来年度の初演に向けて、かしらのデザインや制作、舞台道具の制作打ち合わせ、演出内容の検討・出演依頼等を行った。 総合演出を務める藤原道山氏が東京で集英社と度々打ち合わせをし、その結果をもとに県内関係者で構成された実行委員会で準備を進めた。	—	—
創造拠点事業 3) 計				223

II 普及拠点事業

1) 実演芸術を鑑賞する機会を県民に提供する事業

期日 会場	事業名	概要	入場料 参加費(円)	入場者 参加者(人)
新日本フィルハーモニー交響楽団				
7/15(木) デイサービス ぽぽろ大江 (熊本市)	【関連企画】 新日本フィルハーモニー交響楽団 アウトリーチ	高齢者介護施設にて、新日本フィルハーモニー交響楽団メンバーによる、弦楽四重奏のコンサートを行った。 「365歩のマーチ」や「五木の子守唄」などの音楽も演奏し、利用者はとても和やかに音楽を楽しまれていた。 コロナ対策として、PCR検査や演奏時のマスク着用などを徹底して実施した。	—	40

期日 会場	事業名	概要	入場料 参加費(円)	入場者 参加者(人)
7/15(木) 県立劇場 コンサート ホール	新日本フィルハーモニー交響楽団	大友直人氏(指揮)、清水和音氏(ピアノ)、新日本フィルハーモニー交響楽団(管弦楽)によるオールベートーヴェンプログラム。 迫力ある演奏に、観客席は大いに盛り上がった。 アンコールは、熊本地震や水害の被害にあった方々に思いを寄せ「G線上のアリア」を演奏した。	[指定] S5,000 A4,000 B2,000	730
フィルハーモニクス ウィーン=ベルリン				
12/17(金) 県立劇場 コンサート ホール	フィルハーモニクス ウィーン=ベルリン	新型コロナウイルス感染症の影響で中止。	—	—
共催事業				
9/19(日) 県立劇場 演劇ホール	万作・萬斎の会公演	熊本「万作・萬斎の会」が夏季の恒例行事として開催する狂言公演。 和泉流狂言師の野村万作氏、萬斎氏、裕基氏の親子三代を迎え、狂言「宗論」「業平餅」を披露した。 狂言師の石田幸雄氏による、みどころや登場人物のキャラクターについて詳しい解説もあった。	[指定] S8,800 A6,600 B5,500 [自由] 3,000	724
11/13(土) 県立劇場 コンサート ホール	クラシック・キャラバン2021「クラシック音楽が世界をつなぐ」～輝く未来に向けて～華麗なるガラ・コンサート	(一社)日本クラシック音楽事業協会が文化庁の助成を受けて実施した公演。 声楽ソリストと合唱団、オーケストラ編成によるガラ・コンサートで、オペラ・アリアやベートーヴェンの交響曲第9番等、ヴァリエティに富んだプログラムを聴かせた。	[指定] S6,500 A5,000 B3,500	545
12/1(水) 県立劇場 コンサート ホール	辻井伸行ピアノソロリサイタル	辻井伸行日本ツアーの初日として実施されたピアノリサイタル公演。 ドビュッシーの子供の領分、チャイコフスキーのくるみ割り人形組曲、ショパンの舟歌、ピアノソナタのほか、4曲のアンコールを披露するなど、大いに盛り上がった。 観客も惜しめない拍手を送り続け、盛況のうちに幕を閉じた。	[指定] S7,800 A6,800 B5,800	1,770
2/17(木) 県立劇場 演劇ホール	劇団四季「はじまりの樹の神話」	子どもから大人まで楽しめる劇団四季ファミリーミュージカルの新作。 覚えやすいメロディーや迫力ある舞台に子どもたちは引き込まれた様子で、公演はスタンディングオベーションで幕を閉じた。 県立劇場が児童養護施設の子どもたちを招待する「びっころシート事業」により、1施設、里親6家族の計38名が鑑賞した。 取材：熊日	[指定] S5,500 A3,300	801

期日 会場	事業名	概要	入場料 参加費(円)	入場者 参加者(人)
ケンゲキアートチャンネル				
通年	ケンゲキアートチャンネル	コロナ禍を受けて開設した YouTube チャンネルを活用し、舞台芸術の各種情報を発信。年間で 24,077 回の視聴があった。	無料	—
普及拠点事業 1) 計				4,610

2) 芸術文化に触れる機会を県民に提供する事業

期日 会場	事業名	概要	入場料 参加費(円)	入場者 参加者(人)
知的・発達障がい児(者)向けの劇場体験プログラム「劇場って楽しい！」				
11/13(土) 県立劇場 演劇ホール	劇場って楽しい!	知的・発達障がい児(者)に向けた劇場体験プログラムとして、アンサンブル・リュネット(フルートアンサンブル)のコンサートを字幕や手話通訳などによる鑑賞サポート付きで実施した。 取材:熊日	[自由] 500	249
演奏家派遣アウトリーチ事業				
9/28(火) 県立劇場 第1練習室	登録アーティスト研修	登録アーティストによるアウトリーチのランスルーを実施した。	—	1
10/7(木)、 26(火)、 27(水) 上小、 須恵小、 岡原小、 深田小、 免田小	アウトリーチ事業 あさぎり町	協力アーティストの山本亜矢子氏(ピアノ)と、令和3・4年度登録アーティストの小路永和奈氏(箏)によるアウトリーチ。 昨年度に続き、一部の学校では会場を音楽室から体育館に変更する等感染症対策を行った	無料	220
11/4(木)、 5(金)、 16(火) 中原小、 りんどうヶ 丘小、 市原小、 南小国中	アウトリーチ事業 南小国町	登録アーティストの小路永和奈氏(箏)、池澤真子氏(ソプラノ)による演奏を届けた。 児童生徒は、新型コロナウイルス感染症対策により、演奏者から3m~6mの距離を取って鑑賞した。	無料	163
11/24(水) ~26(金) 産山学園	アウトリーチ事業 産山村	産山村立産山学園にて小路永和奈氏(箏)によるアウトリーチを開催。 1~9年生までの全校生徒が参加した。 新型コロナ対策で演奏体験ができないため、ビデオカメラで演奏中の手元を映し電子黒板に投影するなど随所に工夫を入れたプログラムを実施した。	無料	102

期日 会場	事業名	概要	入場料 参加費(円)	入場者 参加者(人)
12/1(水) ～3(金) つなぎ文化 センター	アウトリー チ事業 津奈木町	津奈木小学校1年生から6年生まで計6コマのアウト リーチを実施。 登録アーティストの池澤真子氏(ソプラノ)、岡村彬 子氏(メゾソプラノ)による演奏を届けた。 新型コロナウイルス感染症対策として、会場を学校か らつなぎ文化センターに移して実施した。	無料	210
12/7(火)、 9(木)、14 (火)、17 (金) 田浦小、 大野小、 佐敷小、 吉尾小、 内野小、 湯浦小	アウトリー チ事業 芦北町	協力アーティストの春日香南氏(クラリネット)と、 令和3・4年度登録アーティストの小路永和奈氏(箏) によるアウトリーチ。 6つの小学校の児童を対象に実施した。 子ども達は間近で聴く楽器の音色に耳を澄ませ、時に は感嘆の声をあげ演奏を楽しんでいた。	無料	184
12/20(月)、 1/18(火)、 24(月)、 26(水) ～28(金)、 31(月) 緑東中、 久木野小、 葛渡小、 第一小、 第一中、 袋中、 袋小	アウトリー チ事業 水俣市	協力アーティストの春日香南氏(クラリネット)と、 令和3・4年度登録アーティストの小路永和奈氏(箏)、 池澤真子氏(ソプラノ)による実施。 音楽の授業が制限される中、生の音楽を届けることが でき、アーティストとのやりとりも活発に行われてい た。 一方新型コロナウイルス感染症の影響により、中止と なった学校もあった。(水俣第二小・水東小)	無料	252
2/3(木)、 9(水)、 16(水)～ 18(金) 益城中央 小、 津森小、 飯野小、 広安西小、 広安小	アウトリー チ事業 益城町	小路永和奈氏(箏)、亀子政孝氏(コントラバス)を 益城町の小学校に派遣。 益城中央小と津森小は感染対策のため体育館で実施し た。 箏やコントラバスを初めて聴く児童も多く、子どもた ちは積極的にアウトリーチに参加し、演奏家からの問い かけにも元気よく応えていた。	無料	365
普及拠点事業 2) 計				1,746

Ⅲ 市民会館事業

期 日 会 場	事業名	概 要	入場料 参加費(円)	入場者 参加者(人)
熊本地震発生から5年「私たちの未来」				
4/11(日) 市民会館シ アーズホー ム夢ホール	熊本地震発 生から5年 「私たちの 未来」	熊本地震の復興を祈念した、邦楽器演奏を中心とする朗読コンサートを実施。青少年から募集を行った文芸作品集「熊本地震を乗り越えて『私たちの未来』」から抜粋した60作品を女優の宮崎美子氏が朗読。 邦楽演奏はくまもと全国邦楽コンクール最優秀賞受賞者などが担当した。 【取材：熊日・TKU】	[自由] 1,000	550
出田りあ&村治佳織デュオリサイタル				
7/7(水) 市民会館シ アーズホー ム夢ホール	出田りあ& 村治佳織デ ュオリサイ タル	マリンバ奏者の出田りあ氏と、ギター奏者の村治佳織氏によるデュオリサイタル。 昨年度実施予定だったものを延期して開催した。映画音楽からクラシック曲と多彩なプログラムで構成された演奏会となった。 チケットは完売。	[指定] S3,000 A2,000	1,075
絵本 de クラシック ブレーメンの音楽隊				
8/9(月)→ 11/21(日) 市民会館シ アーズホー ム夢ホール	絵本 de ク ラシック ブレーメン の音楽隊	トラベル・ブラス・クインテット+ (管楽器アンサンブル) による0歳から楽しめるクラシックコンサート。 当初8月に実施予定だったが新型コロナの影響で延期し実施した。2回公演。 メインプログラムの「ブレーメンの音楽隊」では、声優の岡村明美さんによる朗読もあり、様々な役を演じ分けるプロの技に子どもだけでなく大人も魅了された。	[指定] おとな 1,000 子ども 500	1,512
あかちゃんとダンス!				
11/23(火 祝) 市民会館シ アーズホー ム夢ホール	あかちゃん とダンス!	ダンスカンパニープロジェクト大山主宰の古家優里を講師に迎え、5か月~1歳半の乳児と、その保護者を対象としたダンスワークショップを開催した。 参加者は終始リラックスした様子で、45分間楽しく身体を動かした。	参加費 500	48
合唱と管弦楽のための交響詩集「時の川」				
3/20(日) 市民会館シ アーズホー ム夢ホール	合唱と管弦 楽のための 交響詩集 「時の川」	新型コロナウイルス感染症の影響で中止。	—	—
市民会館事業 計				3,185
【点検・調査結果及び評価】 新型コロナウイルス感染症の影響で中止した事業もあったが、県内各施設や関係機関と連携し、実演芸術を担う人材の育成・確保を行う事業や、質の高い実演芸術を鑑賞する機会を県民に提供する事業を各種実施しており、事業計画通りに適正な運営がなされている。				

3 施設の利用状況

施設名		令和3年度計	令和2年度計	前年度比
	開館日数	335	319	▲17
コンサートホール	利用可能日数	297	145	+152
	利用日数	137	41	+96
	利用率	60.1	28.3	+17.9
	入場者数	73,714	17,196	+56,518
演劇ホール	利用可能日数	293	146	+147
	利用日数	178	49	+129
	利用率	60.1	33.6	+27.2
	入場者数	54,482	10,610	+43,872
大会議室	利用可能日数	299	176	+123
	利用日数	95	38	+57
	利用率	31.8	21.6	+10.2
	入場者数	8,953	2,372	+6,581
和室	利用可能日数	315	184	+131
	利用日数	55	25	+30
	利用率	17.5	13.6	+3.9
	入場者数	507	282	+225
音楽リハーサル室	利用可能日数	315	166	+225
	利用日数	159	55	+149
	利用率	50.5	33.1	+104
	入場者数	4,222	1,376	+2,846
演劇リハーサル室	利用可能日数	319	170	+149
	利用日数	157	55	+108
	利用率	49.2	32.4	+16.9
	入場者数	4,213	1,535	+2,678
第1練習室	利用可能日数	312	182	+130
	利用日数	130	86	+44
	利用率	41.7	47.3	▲5.6
	入場者数	3,132	2,721	+411
第2練習室	利用可能日数	320	184	+136
	利用日数	224	116	+108
	利用率	70.0	63.0	+7.0
	入場者数	4,650	2,262	+2,388
第3練習室	利用可能日数	317	188	+129
	利用日数	232	159	+73
	利用率	73.2	84.6	▲11.4
	入場者数	3,452	2,931	+521
その他の入場者数	入場者数	56,396	29,479	+26,917
入場者数 合計		213,721	70,764	+142,957

【点検・調査結果及び評価】

・令和3年度は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、多くの催事が中止・延期を余儀なくされたこと、県のリスクレベル引き上げや国の「まん延防止等重点措置」適用により、施設の開館時間の制限（5/16～6/13、8/8～9/30）や新規予約の停止（4/24～6/27、7/28～9/30）を行ったことの影響により、施設利用率や入場者数は目標を下回った。

・令和2年度との比較では、保全計画に基づく改修工事による休館がなかったことや、感染対策を徹底したうえで、可能な限り催事が実施できるよう施設閉館を行わなかった結果、利用率は多くの施設で上昇し、入場者数は約3倍に増加した。

4 管理運営経費の収支状況

① 収入		
項目	内 訳	金額 (円)
指定管理委託料等	管理業務受託収入、事業受託収入	414,891,000
基本財産運用収入	基本財産利息収入	800
特定資産運用収入	特別企画事業積立資産利息等	2,502
事業収入	創造拠点事業収入、普及拠点事業収入等	9,372,800
制作受託収入	制作受託収入	199,000
広告料収入及び事業協賛金収入	広告料収入及び事業協賛金収入	1,230,000
補助金等収入	団体助成金収入、市町村負担金収入	60,245,442
寄付金収入	寄付金収入	0
雑収入	受取利息収入、雑収入	8,295,477
特定資産取崩収入	特別企画事業積立資産取崩収入等	33,946,125
合 計		528,183,146

② 支出		
項目	内 訳	金額 (円)
管理業務支出	人件費支出、維持管理、物件費支出	327,871,537
文化事業費支出	創造拠点事業費支出、普及拠点事業費支出等	132,873,392
投資活動支出	退職給付引当資産取得支出、特別事業積立資産取得支出、文化事業寄付積立資産取得支出等	64,156,192
財務活動支出	リース債務返済支出	4,252,308
合 計		529,153,429

【点検・調査結果及び評価】

- ・指定管理委託料について、県と（公財）県立劇場との協定に基づいた（公財）県立劇場の管理運営費、文化事業費に充てており、事業運営は適正に行われている。
- ・国等の助成金や企業の協賛金等の指定管理委託料以外の収入確保に努め文化事業等に充当するなど、文化事業の充実にも努めた。

【使用料の収納実績】

(単位：円)

月	要収入額	収入済額	収入未済額	摘要
(R3) 4	7,752,070	6,111,420		
5	6,078,510	7,525,910		
6	10,825,640	10,115,700		
7	10,328,330	9,410,780		
8	10,771,730	11,541,330		
9	6,694,920	7,075,100		
10	12,098,780	9,886,890		
11	15,486,980	17,096,190		
12	15,642,440	14,870,540		
(R4) 1	10,242,920	10,962,070		
2	10,007,810	9,290,400		
3	17,771,980	17,722,210		
(4)	0	2,093,570		
年度計	133,702,110	133,702,110	0	うち使用者に返還68件4,202,050円

【点検・調査結果及び評価】

- ・年間を通して、使用許可及び収納事務は適正に行われ、収入未済なし。
- ・施設利用のキャンセルに伴う返還業務も多数あったが、適切に処理されている。

5 利用者調査結果

(主催者)

調査 実施 内容	調査年月日	令和3年4月1日～令和4年3月31日			
	調査方法	施設利用者を対象にアンケート用紙への記入方式で実施			
	調査対象数	34団体			
評価項目 (4段階評価)				満足度 (平均値)	
				3年度	2年度
1	利用料金について (4:安い 3:やや安い 2:やや高い 1:高い)			2.96	2.10
2	利用手続きについて (4:円滑 3:おおむね円滑 2:やや煩雑 1:煩雑)			3.74	3.82
3	フロア職員の接客態度や対応について (4:良い 3:概ね良い 2:あまり良くない 1:良くない)			3.88	3.91
4	ステージ職員の接客態度や対応について (4:良い 3:概ね良い 2:あまり良くない 1:良くない)			3.88	3.91
5	舞台・音響・照明について (4:良い 3:概ね良い 2:あまり良くない 1:良くない)			3.88	3.91
6	また利用したいと思うか (4:是非利用したい 3:利用してもいい 2:あまり利用したくない 1:もう利用したくない)			4.00	4.00
計				3.72	3.61
利用者からの 意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・利用手続きがオンラインになり、楽に感じた。 ・仕事としての対応だけではなく、一緒に感動したり心配したりしてもらったことが非常に嬉しかった。 ・築約40年とは思えない綺麗なホールで、奏者も響きの良さに感動していた。 ・コロナ対策や日程・内容の変更などに柔軟に対応してもらえた。 				
【調査結果及び評価】					
・例年同様の結果であり、利用者に寄り添った運営に努めており、利用者の満足度は概ね高いと評価できる。					

(入場者)

事業名	回答率 (%)	満足度 (%)
新日本フィルハーモニー交響楽団	47.4	99.7
能で読む～漱石と八雲～	56.5	99.1
全国共同制作オペラ「夕鶴」	32.5	94.8

6 意見・苦情等の対応

利用者からの意見・苦情等	改善状況
もう少し気軽にホールを利用できる料金プランがあるといい。	条例改正により令和3年4月からホールの部分利用が可能となった。 利用者の関心も高く、運用開始初年度となる令和3年度のホール部分利用は31件の実績をあげた。
【調査結果及び評価】 ・利用者からの意見については、県立劇場内だけでなく、県とも情報共有を行い、両者が連携して適切な対応をとることで利用者の利便性に配慮することに努めている。	

7 昨年度の評価で、改善を指摘された事項に対する対応

指摘事項	改善内容・結果
特になし	

8 その他

熊本県立劇場条例に定める公の施設の設置目的等の達成度

【評価の基準】

- A：持続・更なる向上が期待できる状態
- B：ステップアップが望まれる状態
- C：見直しが必要な状態
- D：抜本的な見直しが必要な状態

【選定の特例（非公募）を適用する目的となった重点的な評価項目の達成度】

(1) 人材の育成、確保

■評価項目①：実演芸術を担う人材の育成、確保

評価	理由
A	実演芸術を担う人材を育成するため、人材育成プログラムに基づく計画的・体系的な研修により、アートマネジメントや舞台技術に携わる人材の育成に取り組んでおり、それらの人材が能力を発揮できるよう、積極的な活用の推進と環境の整備に取り組んでいる。 また、未来の実演芸術を担う青少年を育成するためのクリニックやワークショップの実施、また、伝承芸能を保存・継承するために、人気漫画を題材とした新作の制作にも取り組んでいる。

(2) 関係機関等との連携

■評価項目②：実演芸術の振興のための県内各施設や関係機関との連携

評価	理由
A	県の実演芸術の中核施設として、県内全域の文化振興と舞台芸術のレベルアップを図るため、県内公立文化ホール等へのスタッフ派遣指導や受入研修などを行うとともに、県内文化団体、教育委員会及び学校などの関係機関と連携した催事等の企画運営を積極的に行うなど、本県の実演芸術の振興に努めている。

【運営方針に定める項目の達成度】

(1) 質の高い事業の実施

■評価項目①：質の高い実演芸術に触れる機会の提供

評価	理由
A	運営方針や県立劇場へのニーズに基づき、さらにコロナ禍の影響等を考慮し、令和2年度の10月に年間公演プログラム案を策定した。 個々の事業については目標や目的、広報計画等を盛り込んだ実施計画書や企画書を作成し、事業を進めている。

■評価項目②：特色ある自主企画事業の実施

評価	理由
A	こころの復興支援事業「アートキャラバンくまもと」の集大成として、「熊本地震復興5年事業」を実施。人吉駅構内でのトークセッションや復興祈念の創作舞台「水と火と木、そして再生の物語」を制作し上演した。 また、県ゆかりの木下順二氏の戯曲をオペラ化した歌劇「夕鶴」を東京芸術劇場と刈谷市総合文化センター（愛知県）と共同で制作。熊本県在住で国際的に活躍する岡田利規氏の演出で、芸術性の高い作品として高評価を得た。 パッケージ事業としては、コロナ禍で海外オーケストラの企画を見送り、代わりに「新日本フィルハーモニー交響楽団」公演を企画。アクロス福岡ととりぎん文化会館（鳥取県）と連携し、「251年目のベートーヴェン」と題した独自性の高いコンサートを実施した。

(2) 普及啓発

■評価項目③：児童、生徒、学生等に対する質の高い実演芸術に触れる機会の提供

評価	理由
A	(公財) 県立劇場主催の文化事業において、25歳以下の学生料金の設定や託児サービスを実施している。 また、親子向けの催事や子ども向けのワークショップの開催等に積極的に取り組むとともに、教育委員会と連携しての学校への広報などを行い、児童生徒などが実演芸術に触れる機会の創出に努めている。

■評価項目④：実演芸術の理解を一層深めるための付随事業の実施

評価	理由
A	（公財）県立劇場主催公演の際は、アフタートーク等の付随事業の実施等、公演についての鑑賞者の理解が深まるよう努めているとともに、公演のジャンルや出演者に関する図書リストの事前 SNS 配信や当日配布を行ったり、「夕鶴」公演に関しては特設サイトを開設、出演者のコメントや初演批評を紹介したりするなど、初心者にもわかりやすく、興味を引くようなさまざまな工夫をしている。

■評価項目⑤：アウトリーチ事業の実施

評価	理由
A	「演奏家派遣アウトリーチ事業」は7市町で計49コマを実施、小中学生に対し音楽の出前授業を行った。実施にあたっては学校との調整や会場下見、演奏家との契約、アウトリーチ実施を各市町担当者と連携して進めた。 「新日本フィルハーモニー交響楽団」公演の関連企画として、高齢者福祉施設にも演奏家を派遣し、知的・発達障がい児（者）に向けたプログラム「劇場って楽しい！！」を実施している。 また、中長期的にはアウトリーチ事業を増強する計画で、アウトリーチ事業を担う外部コーディネーターの確保・育成やスキームの見直しを実施している。

■評価項目⑥：国内外で活躍する熊本県出身芸術家等との連携

評価	理由
A	「演奏家派遣アウトリーチ事業」「行くぜ！劇場探検隊」「出田りあ&村治佳織デュオリサイタル」等の事業において、県在住・出身アーティストに出演を委託。 共同制作オペラ「夕鶴」では、県在住の岡田利規氏を演出に起用、岡田氏は本作品で読売演劇大賞の優秀演出家賞を受賞した。 また、熊本地震復興5年事業「水と火と木、そして再生の物語」ではオーディションで4人の県在住ダンサーを起用するなど、公演やアウトリーチのほか、本県の実演芸術の振興全般にわたって、国内外で活躍する熊本県出身芸術家等との連携に積極的に努めている。

■評価項目⑦：日常的に人々が集い自由に文化芸術に触れることができるための工夫

評価	理由
A	平成音楽大学や熊本デザイン専門学校、熊本大学教育学部と連携を結んでいるほか、県吹奏楽連盟などの文化団体や地域と積極的に連携している。 また、コロナ禍で開設した公式 YouTube チャンネル「ケンゲキアートチャンネル」を充実させ、オンラインで熊本の文化芸術に触れられるよう工夫している。 新型コロナ感染対策関連の備品を整備するとともに、館内のデジタルサイネージによる貸館事業、文化事業等の電子ポスターの掲示、県や県立劇場のPR動画を放映するなど、利用者を飽きさせない快適な空間演出に取り組んでいる。

(3) 経営の安定化

■評価項目⑧：協賛企業の確保等、多様な財源の確保

評価	理由
A	外部資金を戦略的に捉え、日ごろから助成金の情報収集や企業に協力・協賛を依頼できる関係づくりを行うとともに、申請ノウハウを蓄積するなど、積極的に外部資金の獲得・活用に努めることで、文化庁や地域創造等からの助成金のほか、民間企業との共同企画等により、多様な財源を確保している。 また、文化事業のチケットを先行して購入できる「先行予約会員制度」を導入しており、会員数も増加している。

■評価項目⑨：公演実施者及び鑑賞者の拡大に向けた取組みの実施

評価	理由
A	チケット販売に係る営業活動等の取組や、コンシェルジュ制度の導入による利用者へのサービス向上により公演事業者からも高い評価を受けている。 付帯事業の充実等により初心者を呼び込むとともにリピーターを増やすための積極的な取組が行われており、鑑賞者の拡大に向けた取組も行われている。 公演の満足度、スタッフの対応、鑑賞者のマナーのほか公演の感想や意見を、アンケートにより聴取し、次年度以降の文化事業を組立ての参考としている。

(4) 安全管理

■評価項目⑩：災害時等における事業継続計画の策定、避難訓練等の実施

評価	理由
A	施設の特性を踏まえて策定された「熊本県立劇場 危機管理マニュアル」の充実を図り、災害発生時には、財団職員のみならず催事主催者とも協力体制がとれるよう運用を行っており、定期的な訓練によってスタッフへの徹底を図るとともに、訓練等により得られた知見に基づき、マニュアル内容の点検や見直しを随時行っている。 併せて、令和4年1月に熊本県立劇場事業継続計画書を改訂。自然災害や感染症等の緊急事態発生時の態勢を見直すとともに、事業継続態勢について明記した。

■評価項目⑪：災害等の非常時における避難者への対応

評価	理由
B	災害等の非常時において、県立劇場は防災計画上の避難所に指定されていないため、避難所運営的なマニュアルは未整備であるが、災害等の非常時において緊急的に県立劇場への避難が必要となった者に対し、避難場所として休憩スペースやトイレ等の提供を行うこととしており、当該方針について職員に周知している。 令和2年9月の台風10号の際の人吉市から広域避難先として避難者を受け入れた経験から、緊急時職員配置や受け入れ態勢についても、危機管理マニュアルと併せて職員に周知している。

(5) 適切な評価基準の設置と事業評価の実施、翌年度計画への確実な反映

■評価項目⑫：自己評価の実施

評価	理由
B	施設利用者や入場者へのアンケート結果のほか、文化関係者等からの意見や様々な情報を収集の上、多方面からの様々な意見を反映して自己評価を行っており、評価の客観性を高めるよう努めているが、類似施設等への調査やそれに基づく研究を行うまでには至っていない。

■評価項目⑬：県の事業評価結果の事業計画への反映

評価	理由
A	県立劇場の運営に関しては、実施したアンケート結果や業務実績等を踏まえ、県との連携のもと改善に取り組んでいる。